



■ ～スクリーニング検査って、何？～

スクリーニング検査って、何？

～ 【先天性代謝異常のスクリーニング検査について】 ～

赤ちゃんが生まれる前に先天性代謝異常のスクリーニング検査について説明を受けたでしょうか？スクリーニング検査とは、集団検診や人間ドック、がん検診などのように振るい分けをすることがスクリーニング検査にあたります。

先天性代謝異常にはメイプルシロップ尿症、フェニルケトン尿症やクレチン症といった生まれつき、アミノ酸やホルモン等の体内で利用していらなくなったものを、分解処理し身体の外に排出する身体の働きが弱かったり、出来ない子がいますが、そのことを代謝異常症といいます。その時、行われる検査をスクリーニング検査といいます。かつては赤ちゃんの尿を検査センターに送って結果を待つこともあったのですが、今は入院中、生まれて5日目に血液を濾紙に取り、東京都の検査センターに送り検査する形になっています。

この4月からは若干、方法が変わり、お母さんに血液を取る濾紙の欄内にお名前を書いていただいたりすることになりました。

結果により、「要再検査」と言われることがありますが、再検査が必要と言われるとお母さんはビックリし、どこかに「異常」があるのかと驚かれ、心配されることもあるかと思えます。ですが「再検査」が必ずしも「異常」という事ではなく、予定日より早く生まれ検査した時点で、赤ちゃんがまだ小さかったり、内臓機能が未熟で検査がもう一度必要になることがあります。たとえ、「異常」と結果が出ても、早期の適切な治療で将来に重篤な病気の症状が出ないように防ぐことを目的とすることが、この検査を実施する狙いです。

当院では、この先天性代謝異常のスクリーニングのほかに、聴覚(OAE)スクリーニング、お母さんの不規則抗体スクリーニングといった検査も実施しています。



担当: 検査課